

まつうライフをぎゅっとお届け.....

まつうら

市報

Matsuura City Public Relations

9

2025/No.237



特集

私たちの主張を伝えます！

- 令和7年度松浦市子ども議会 -

議

長

今月の表紙



8月1日に開催された子ども議会。
 子ども議員の皆さんは、各学校の代表として緊張しながらも堂々と発言。
 閉会後は、大役を終えた達成感から、満面の笑顔が広がりました。
 ※関連記事 P 2
 私たちの主張を伝えます！
 令和7年度松浦市子ども議会

市広報ツール





 ▲ X (旧 Twitter) ▲ Facebook





 ▲防災アプリ ▲市ホームページ



 ▲ LINE

市立公民館ホームページ 

文化会館休館日 

1日、8日、16日、22日、29日

CONTENTS =目次=

- 2 | 特集1 私たちの主張を伝えます！
— 令和7年度松浦市子ども議会—
- 13 | 敬老の日に寄せて
- 14 | 第27回参議院議員通常選挙の投票率
- 15 | 特集2 松浦港御厨地区緑地
うみのかぜ公園オープン
- 17 | 特集3 夜空を彩る 松浦の夏
- 19 | ホットニュース
- 24 | まちの話題
- 28 | 知っとくトピックス
- 29 | ま^つ通^らマルシェ
- 33 | 暮らしの掲示板
連載コーナー
- 38 | 戸籍だより
- 裏表紙 | tomorrow
～明日へのバトン～

人の動き ※ () は前月比

人口	20,141 (- 14)
男	9,705 (- 18)
女	10,436 (+ 4)
世帯数	9,827 (+ 15)

※住民基本台帳から
 令和7年8月1日現在

※外字に関しては、新聞表記等にあわせて掲載させていただきます。
 ※学年等は取材時のものです。

特集

私たちの主張を伝えます！

—令和7年度松浦市子ども議会—



住み続けたいを実感できる
まちづくりをテーマに

8月1日、市議会議場において「子ども議会」を開催しました。

この議会は、中学生の皆さんに子ども議員として、「住み続けたいを実感できるまちづくり」をテーマに松浦市政を考えてもらう機会としており、10年、20年後の松浦市を担う中学生の柔軟な発想から生まれる考えを表現する場として位置付けています。

今回の経験をまちづくりへの参画のきっかけにし、今後も市政に関心を持って、自らが考えた意見を基に行動できる人に育っていただければと思います。

市議会と同じ形で行われた
内容の一部を紹介します

子ども議会では、議事の進行を務める議長や、副議長が中学生議員の中から選ばれ、通常の市議会と同じ様に進行されました。

当日は、21人の議員が参加し、総合学習などで学んだことを意見や提案、質問として発言し、市長をはじめとする各担当課長からの答弁を受けました。

今回の特集では、議会内容の一部を紹介いたします。
松浦市の将来を担う子どもたちの活力あふれる声をぜひご一読ください。

(以下敬称略)

詳しい質問や答弁は、松浦市ホームページをご覧ください。
(左記のQRコードを読み取ってください。)



鷹島の未来のために私たちに
できることについて



鷹島中学校
宮本 琉希、松永 悠聖、大石 華

鷹島では、地域が発展していくために、どのようなことをすればよいか、私たちにできることとはないかなど、子どもと大人が一緒になって、毎年「みらい会議」という話し合いの場を設けています。鷹島のために私たちにできることは、新たなPR方法を探り、地元の良いところを発信することだと考えました。ただ、それを実現するためには、私たち子どもだけでは難しい課題がでてきました。

Q 私たちが、福岡で鷹島のPR活動を行うために、移動にかかる費用を負担していただけないでしょうか。併せて、その他福岡事務所などに協力をいただき、私たちもPRに参加できる方法等があったら教えていただけないでしょうか。

A 活動に係る費用については、学校における総合学習推進事業として計画することで費用負担が軽減できます。活動の目的などについて計画を詳しく聞かせていただきたいと思います。

福岡事務所では、福岡都市圏において開催されるさまざまなイベント、市主催のイベントを福岡市内で実施することによって、認知度向上と福岡都市圏からの誘客を図っています。移動費用の負担など、直接的な支援を行うことは難しいと考えますが、福岡事務所を通じて、効果的なイベントの情報を提供することは可能です。

Q 令和7年度からの「地域おこし協力隊」によるSNS等を活用した本市の魅力発信は、具体的にどのようなことをしていますか。また、私たちが、PR活動を考えた場合、発信していただけますか。

A 外部人材配置後は、市内各地域を巡回しながら、外からの目線で松浦の新たな魅力を収集し、SNS等を活用して地域内外へ発信する役割を担います。

また、発見した資源と既存の資源を組み合わせた新たな観光コンテンツを企画して作り上げ、そのコンテンツの魅力も発信していきます。皆さんの貴重なアイデアも取り入れながら、新たな目線で鷹島や松浦の魅力を発信していきたいと考えています。

Q 鷹島の特産品を使った商品開発について多くの人が手に入れやすいものにするためには、加工した商品を開発することが必要だと考えます。そこで、私たちが、鷹島の特産品を使った商品開発をする場合、協力していただけますか。

A 地元の特産品を使った商品を実際に開発するには、企業等の協力が必要なので、アイデアに応じた関連企業等をご紹介できればと考えます。

また、市内に事業所を有する中小企業者等に対して、新商品開発にかかる費用に対して支援を行っています。

特産品を活用した新商品開発は大切な取り組みで、特産品のPRはもとより、新規顧客の創出や生産者の所得向上、地域産業の活性化にも繋がります。

市のビジネスプランコンテストには、地域産業の活性化につながる実現可能性の高いアイデアを対象としたアイデア部門もあります。アイデアを実現する一歩として、活用できるのではないかと思います。

資金面の支援としては、「がんばる中小企業応援補助金」という制度があり、新商品の開発などに取り組む市内事業者を支援しています。

Q 新たに開発した鷹島の特産品を使った商品について、道の駅以外に空き家の活用やネット通販、他県への出張販売等を考えた場合、松浦市として支援が可能でしょうか。

A 市では、物産展への出展紹介やふるさと納税出品手続きの支援を行っています。

また、商品を認めてもらう必要があるため、意欲ある事業者に対しては、物産振興の取り組みの中で商談会や展示会を紹介しています。

市への訪問客を増やすための 方策について



今福中学校
下村 玲鳳、田代 蒼空、青木 悠一

私たちの住む松浦市は、海と山に囲まれた自然豊かな土地であることが最大のメリットであると思います。一方、学ぶ場所を求めて市外へ出ていく人も少なくありません。

市では、まちの活性化のためにさまざまな取り組みをされており、最近では、鷹島を「水中考古学の聖地」と銘打って観光アピールをされていると伺っています。

今福町は、鷹島汽船を利用した鷹島へのルートがあります。陸地を回って橋を渡るよりも最短ルートで島に渡ることができ、鷹島への訪問もし易いと考えます。

Q 現在市内で行われている観光者向けの体験活動について、どのようなものがあるか、またその受け入れ先や体験料について教えてください。

A 体験型旅行事業を実施している一般社団法人まつうら党交流公社のメニューの中から、船釣り、港釣り、魚さばき、アジフライ作り、田舎十割そば打ち等があります。

一般社団法人まつうら党交流公社を窓口として、主に青島地区や田代地区で受け入れを行っています。体験料は、メニューによってさまざまです。

Q 松浦市にはいくつか島があり、それぞれに観光スポットや体験活動などがありますが、交通機関等の割引や体験料金等、島に行きやすくするための取り組みはありますか。

A 現在、観光を目的として、島に行くための交通機関の割引や体験料金の割引はありませんが、まつうら党交流公社の体験料金は、市外で行われている体験メ

ニューと比べても低料金で設定されています。情報を発信するとともに、島でしか味わえない体験メニューを充実させ、島に来てもらえるよう取り組んでいます。

Q 「水中考古学の聖地」としての鷹島へ訪問客を増やすために、鷹島汽船を利用した観光ルートを提案します。例えば、鷹島観光・体験スタンプラリーのようなものをつくってはどうかでしょうか。

また、今福港に物産商業施設を建設すれば、それを求めてくる観光客も見込めるのではないのでしょうか。

A これまで「水中考古学の聖地」への誘客の取り組みとして、元寇（蒙古襲来）の歴史と食を活かした観光コンテンツづくりに取り組んできました。

具体的には、元寇の歴史にゆかりのある吉崎市、対馬市と松浦市が連携し、3市の特産品が当たる3市合同のデジタルスタンプラリーを開催し、1769人の参加がありました。

鷹島をはじめ、今福では梶谷城跡など、市内数か所をスポットに設定し市内の周遊観光につなげることが

できました。

「鷹島に行ってみよう」と思ってもらうような仕掛けづくりはまだまだ必要だと考えています。

交通機関や体験活動、商業施設との連携のアイデアも参考にしながら、引き続き情報発信や、魅力あるコンテンツづくりに取り組んでいきたいと考えています。

物産商業施設の建設については、今福町に新たな道の駅を建設することは難しいかもしれませんが、既存施設と連携して誘客促進に努めていきます。

室内で遊べるような大型施設 について

現在松浦市には子どもたちが遊べる公園がいくつもあります。

しかし、雨風の強い日、猛暑日は、屋外での遊びはとても厳しいものがあります。

もしも、屋内で快適に遊べるような施設があれば、天候に左右されることなく、多くの人が伸び伸びと身体を動かして楽しむことができます。

Q 小中学生が利用できるような屋内施設の利用状況と遊具や設備を今より充実させることについての可否について教えてください。

難しいのであれば、屋内レジャー施設事業を取り扱う企業等を誘致するということも考えられます。市の今後の展望についてお聞かせください。

A 現在、屋内施設ではありませんが、文化会館駐車場のうち、西九州自動車道の桁下を活用した、アーバンスポーツ専用スペースの整備を計画しています。

桁下を活用することによって小雨程度であれば使用可能ではないかと考えています。

現在想定している種目は、先日実施した、スポーツに関するアンケートにおいて、多くのご意見をいただいた、スケートボード、3×3バスケットボールの2種目を考えています。

また、現在、民間事業者からのご提案を受け、志佐町にある「海のふるさと館」隣接地に、全天候型の屋内遊戯施設を建設できないか検討している状況です。

松浦市の人口増加に関わる取り組みについて



調川中学校
久保川愛菜、村田 一真、三木 幸輝

このまま松浦市の人口減少が進んでいくと、市全体の生産力も低下していき、私たちの住む松浦市がどんどん苦しくなっていきます。

私たちは、多くの松浦の魅力を知っています。

アジフライや数々の果物などの特産物、人を癒す力のある豊かな自然は、松浦が他の市に誇れる魅力であり財産だと思います。

その魅力の生かし方を考えて松浦市の人口減少を食い止める力になりたいと思っています。

Q 現在、松浦市で行っている祭りのうち、①水軍まつり②鷹島モンゴルまつり③福島土谷棚田の火祭り④福島ふるさと祭りの予算額と集客数について教えてください。

A お尋ねの市内で行われている祭りについては、市の主催ではなく、実行委員会等が組織され、祭りを運営されています。各実行委員会等では、市からの補助金のほか、独自に協賛金や募金を集めて予算を確保されています。

【総事業費・集客数：令和6年度実績】
①松浦水軍まつりの総事業費は987万8854円で、集客数は1万4000人。
②鷹島モンゴルまつりの総事業費は165万7638円で、集客数は200人。

台風接近のためイベントが中止となり、集客数が少なくなっています。参考：令和5年度は5000人。

③福島土谷棚田の火祭りの総事業費は75万3816円で、集客数は550人。令和6年度はイルミネーション点灯のみの実施で、集客数が少なくなっています。

④福島ふるさと祭りの総事業費は341万588円で、集客数は4000人。

Q 祭りを一つにまとめ、予算を大きくして芸能人を呼んだり、ビンゴの景品を松浦の特産品等で豪華にしたりして、より多くの集客が見込めないでしょうか。

A 祭りを一つにして予算を大きくすることで、魅力のある祭りを実施することができるとは思いません。

祭りは、それぞれの地域で特色を生かし、歴史や食文化などを通して、地域の活性化を図るために内容を検討して実施されています。

地域の祭りとして、それぞれで開催する意義があると考えるので、市としては、今後も地域の方々の意向を尊重し、引き続き開催に向けての支援を行っていきたくと考えています。

Q 松浦の魅力である自然を生かした方策として不老山公園を現在の不老山公園の復旧状況および再開予定について教えてください。

A 令和7年3月までに不老山総合公園の子ども広場の遊具施設、トイレの洋式化等の改修、あずまや、ベンチ等の修繕を完了し

ています。現在、長崎県の地すべり対策工事、市道の復旧工事が行われている状況です。

現時点では9月末に工事が完了する予定ということから、その後電気設備などの点検や施設等の安全性の確認を行ったあと、再開園を予定しています。

Q 不老山公園が使用可能になったら、キャンプ場の併設、バーベキューなど、恵まれた自然を生かしてさらに集客できるような取り組みをすることは可能でしょうか。

A 不老山総合公園は、市民の皆さまが無料で利用できる施設として、多目的広場、バーベキュー広場、ツツジ園等を整備しています。再開園した際には、元々整備しているバーベキュー広場があるので、そちらを利用することができます。現段階においては、キャンプ場を整備することは考えていません。不老山総合公園は、市内外から多くの方が訪れる誘客施設です。

今は、安全安心にご利用いただけるよう、再開園の準備に向けて注力したいと考えています。その後については、ドッグランの整備など施設

の充実を検討しています。

Q 現在、アジフライの他にも市外へ売り出そうとしているものはありますか。

A アジフライを含めた12品目を「松浦の極み」としてブランド化しており、イベントでのPRや商談会を実施し、認知度向上や販路拡大のための取り組みを行っています。

さらに、今年度から、他の地元産品についても、商品開発、販売体制の整備など市内事業者が抱える課題を解決するためのコンサルティング事業を実施しています。このような事業を通して、アジフライに次ぐ松浦の魅力的な産品を市外に売り出していきたいと考えています。

また、市では「アジフライの聖地」とともに「水中考古学の聖地」としての認知拡大にも取り組んでおり、元寇（蒙古襲来）の歴史を観光コンテンツ化してPRを行っています。

松浦市の魅力を多くの方に知ってもらうため、松浦にしかない食や歴史をさまざまな形で売り出しています。

若年層（若者）の人口流出対策及び人口流入の取り組みについて



志佐中学校
中尾 颯希、中隈 一翔、萩原 慧

若者の人口流出は松浦のどの地域でも目立っています。志佐中学校では、現在行われている人口流出対策に着目しました。

人口流出対策は活気あふれる松浦市を存続させていくためにも喫緊の課題であると考えます。質疑応答を繰り返す中で私たちがなりにこういったことが実現できれば、若者が「住み続けたいと実感できる松浦」になっていくのではないかと考えました。

Q 進学できる幅が広がると、将来的に松浦に残ろうとする人が多くなると思います。

松浦の良さである海洋資源や自然を生かし、魚などを研究する大学の研究所を設置したり、各大学の研究機関に魅力ある地域資源をPRしたりして誘致活動を行い、各関係機関と関係づくりを進めていくのはどうでしょうか。

A 市では、地域への理解と愛着を育むことが、将来的に松浦に残ろうとする人を育てていくことになると思います。

松浦高校では、生徒が地域課題について調査・考察し解決策を考える「まつナビ」という教育活動があり、ふるさとを大切に思い、その発展に貢献してもらうことにつながっています。

また、昨年度、松浦高校は、日本遠洋旋網漁業協同組合（エンマキ）と東京大学農学部国際水産開発学研究室の学生と交流しました。今年度は、慶応大学や明治大学の学生との交流を予定するなど、都市部の大学との交流も、松浦市内の高校にないから行う機会があります。

さらに多くの地域資源のPRを行

い、活用を図っていくことで、さまざまな機関と連携し、松浦で多種多様な学びを得る機会を広げていきたいです。

研究機関の誘致という点では、現在「鷹島神崎遺跡」について、水中遺跡保護に関する研究を行うため、専門調査研究機関を松浦市に設置するよう働きかけを行っています。

Q 松浦市の創業支援制度を知らない人も多いと思います。

SNSや企業との連携、地元メディアなどのさまざまな方法および松浦市観光大使の岩佐一成さんなど有名人とコラボレーションを積極的に図り、就業面でのPRを活性化してはいくのでしょうか。

A 創業前や創業直後の場合、多岐にわたる悩みを抱えられているケースが多く見受けられます。

市では、商工会議所や商工会、金融機関などの関係機関と連携した上で、創業に関する幅広い相談への対応や段階に応じた支援として創業塾などを開催しており、その成果として、令和6年度は、11人の方の創業に繋がりました。

他の自治体がない市の魅力について

て、市民の皆さまにはもちろんのこと、広域のかつ効果的に情報を発信することは大変重要なことであると考えます。

有名人とのコラボレーションによる情報発信というのも、一つの手段であり、そのようなアイデアを含め、より効果的な情報発信の方法について検討していきます。

Q ふるさと教育では、地域の魅力を調べ、発表するだけに終わっており、行動に移せていません。

現地に赴いて実際に体験活動を実施するなど、ふるさと教育の中に今までより多く体験活動を取り入れるのはいかがでしょうか。

A ふるさと教育に体験活動を取り入れることは、ふるさとをより深く知り、郷土愛を育むためにとても有効です。

松浦市教育委員会では、「松浦市教育振興基本計画」で、ふるさと教育の充実について示しています。

各小中学校においては、総合的な学習の時間、社会科、特別活動、生活科などで体験活動に取り組んでいます。

今後も、地域ぐるみで展開する

るさと教育、体験活動を充実させ、ふるさとへの誇りや郷土愛を育むとともに、ふるさと松浦を主体的に支える人材の育成に努めていきます。

Q 松浦の魅力である山村資源や海洋資源の豊かさを生かし、

農業・漁業体験と一体となった滞在型の観光（グリーンツーリズム）を展開することで、外部の方々から松浦の自然の魅力に気付いてもらえる機会となると考えます。

松浦の一種のアクティビティとなり、移住者の拡大を狙えるのではないのでしょうか。

A 松浦市では、農漁村での体験や民泊を通じて、県外から訪れる方々に地域の魅力と人の繋がりを伝える体験型旅行事業が行われています。

この事業は「一般社団法人まつうら党交流公社」が運営しています。松浦を体験し、松浦を知ってもらった取り組みは、移住者の拡大につながる有効な手立てであると考えます。

継続した活動の実施と、魅力的な事業提供につながる支援を実施していき、こういう取り組みを通じて、移住定住の促進につなげていきたいです。

定期船欠航時の対応について



青島中学校
上場汐央里、榎屋晶華莉、川上 杏莉

定期船欠航時に困っている現状が2つあります。

一つは、欠航時の医師の診療、常用薬の処方ができないことです。定期船が欠航する可能性を考えると、青島では健康に生活できる暮らしが保障されていないと感じます。

もう一つは、災害時や緊急時の対応についてです。昨年度、台風で避難所が開設されたとき、市役所の人が青島に来られるということがありませんでした。

この現状を踏まえると、災害時や緊急時に関係機関から早急な支援を受けられるのか不安です。

Q 定期船欠航時の医療に関する対応と、災害時や緊急時の対応について具体的に教えてください。

また、松浦中央病院で夜間の救急搬送の受け入れが可能になったことによる、救急患者の搬送が可能な交通船の導入計画は現在どうなっていますか。

A 定期船欠航時における救急等の緊急時は、地域の皆さまのご協力により、昼夜間を問わず交通船や漁船にて御厨港まで搬送、そこから救急隊が引き継ぎ、医療機関へ搬送しています。

また、漁船以外にもドクターヘリを要請し救急患者を搬送しています。火災や災害時等の初動については、地元消防団が対応しますが、規模や状況により、消防本部および消防団から必要な人員と資器材を派遣して対応することとしています。

避難所については、市職員を配置した公設避難所を市内8か所に開設しており、早めに公設避難所への避難をお願いしたいと考えています。

定期船欠航等で公設避難所への避難が困難な場合は、青島住民センターと青島小中学校を指定避難所として指定しています。住民の方はさらに自主避難をお願いしたいと考

えています。

欠航による青島診療所の休診については、令和7年1月の終わりから2月初めにかけて3回発生し、祝日による休診も加わったため、島民の方から薬が不足した等のご連絡をいただきました。

欠航による医薬品の不足の問題については、青島に限らず飛島や黒島を含め、欠航しやすい時期には早めの受診、欠航していない時の本土の病院受診を心がけていただくことが大切なのではないかと考えています。

交通船の導入計画については、現在、交通船の規模や能力、対応できる造船会社など、必要な情報を共有しながら、青島地区役員および交通船関係者との協議を進めています。

Q 「新スマート物流事業終了のご案内」が配布され「引き続きこの事業で得た離島への配送モデル、離島への配送ルートなどを活用する手法を検討していきたい」と書いてありました。

今後の具体的な見通しと進捗状況を教えてください。

A ドローンを活用した配送については、現段階で、採算

性のとれる事業継続は難しいとの判断に至りました。ドローン配送を実施していくためには、機体の飛行距離、積載量、天候に左右されずに飛ぶ性能等技術の進歩や、新しい社会インフラの整備等が進むことで、実際に近づいていくものと考えています。

4月末以降、近隣のドローン事業者、ドローンによる物流事業を実施したいと考えている事業者等の取り組みを聞き、意見交換を実施しました。

また、ドローン活用の最新情報、ドローン関係の法規制等について学ぶ職員向け研修会も開催しました。

ドローン活用における人材の育成、長崎県が進めているオンライン診療での医薬品配送の進展を見据えながら、速やかに導入できるように、引き続き検討していきます。

Q ドローンの試運転がなされて以降、島民の方々は「暮らしやすくなる」ととても楽しみに待たれています。

青島の地域住民センターを活用し、オンライン診療を受けられるようになり、ドローンを活用して薬や食料品、日用品などの物資を届けられるようになり、できる体制をつくるのはどうでしょうか。

青島の地域住民センターを活用し、オンライン診療を受けられるようになり、ドローンを活用して薬や食料品、日用品などの物資を届けられるようになり、できる体制をつくるのはどうでしょうか。

A オンライン診療については、青島住民センターに器材を設置して実施できないかと考えています。市内において、現在、オンライン診療を実施している医療機関がなく、また、サポート人材の確保などの問題があります。

また、オンライン診療は、青島に限らず飛島や黒島もその対象にしなければならぬと考えています。

長崎県全体の動きとしては、五島、吉岐、対馬の公立診療所を対象としたオンライン診療や巡回診療車の導入等に関する協議会を設置する予定と聞いています。

この協議会の設置後の内容や、オンライン診療の先進地についての情報を収集しながら、市の離島におけるオンライン診療の早期実現に向けて取り組んでいきます。

ドローン技術は近年、目覚ましい進歩を遂げており、さまざまな分野での活用が広がっています。機体の飛行距離、積載量、天候に左右されずに飛ぶ性能等技術の進歩を確認しながら、オンライン診療等での活用について、引き続き検討していきます。

明るく楽しい松浦市の実現に向けて



御厨中学校
前田 悠貴、内野 真優

私たちは、本議会のテーマである「住み続けたい町づくり」について考えました。どんな松浦市であってほしいか、若者である私たち学生だけでなく、松浦市に住む一人一人がどんな町に住みたいと感じているのかを考えました。

若者にとって魅力的な環境づくり、高齢化が進む中での医療・福祉サービスの充実、また、コミュニティの活性化などが大切だと感じました。

Q 過去10年間の松浦市における人口減少の推移、現状について、具体的に教えてください。

A 国勢調査において、市の人口は、10年前の2015年は、2万3309人。5年前の2020年は、2万1271人。10年前と5年前を比較すると5年間で2038人の減。年間平均で約400人が減少している状況です。

なお、国勢調査は5年ごとに実施され、今年が実施の年であり、10月に実施予定です。

Q 今現在、松浦市として人口減少に対してどのような取り組みをしていますか。

また、取り組みの中で一番効果があるのではないかと感じられるものは何ですか。

A 市では、人口減少に歯止めをかけ、持続可能な社会の実現にむけて「松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め、さまざまな取り組みを進めてきました。

その中で、年間交流人口数の増一人あたりの観光消費額の伸びなどは目標以上の成果を得ており、これ

は、「アジフライの聖地」の取り組みによる効果であると認識しています。生産活動の結果生じる雇用者所得は、消費支出として新たな需要を生み出し、さらなる生産の誘発、雇用創出を生み、人口減少対策として効果があるものと考えられます。

また、働く場の確保という点で、地場企業の投資拡大と新しい企業の誘致のため、御厨町大崎地域に工業団地を造成しています。

Q 人口が減少している松浦市において、現在住んでいる人とそうでない人、どちらも対象にしたイベントが必要だと考えます。

自然豊かな松浦市を生かしたイベント、例えば、松浦マーケットが実施しているビーチクリーンイベントの拡大、特産物などの出店、食べながら歩くウォークラリーを開催することはどうですか。

A 市では、人口減少対策の一つとして、交流人口の拡大に向けた施策に取り組んでいます。ご提案のイベントについては、交流人口の拡大に大変効果のあるものではないかと考えます。

松浦マーケットのビーチクリーン

は、ボランティア活動として毎月第一日曜日に市内の海水浴場の清掃を実施されています。

市では、伊万里湾環境保全対策協議会の活動の一つである伊万里湾一斉清掃活動を毎年実施しています。

令和5年度は、NIBとの共同開催により、大崎海水浴場でスポGO M1（スポゴミ）、令和6年度はぎぎが浜海水浴場で実施、今年度も市内の海岸で予定しています。

来年度は、同協議会構成市合同での清掃イベントを市内の海岸で予定しており、出店についても検討しています。

福島町には、韓国済州島発祥のトレッキングであるオルレのコースを設定しており、このコースを活用したイベントを年に2回開催しています。

コース途中に松浦の食材を使用した軽食や郷土料理の提供、特産品の販売をしています。美しい眺望や食を楽しむながら、松浦の自然を満喫できるイベントは、市内外から多くの方が参加されます。

引き続き、情報発信に努め、住んでいる人にもそうでない人にもどちらも参加していただけるよう取り組んでいきます。

Q 若者からお年寄りまでみんなが
つながることで、町全体が
明るく、温かくなると思います。

小学生・中学生などが参加する学
習会や、お年寄りの方でも参加でき
るニユースポーツを使ったイベント
ができればと考えます。

A 松浦市総合計画に基づき、小
学校区単位の協働によるま
ちづくりを進めています。

御厨地域では「御厨地域まちづく
り運営協議会『よかまちみくりや』
が設立されました。

3世代で交流できる場所として、
うみのかぜ公園の有効活用（各種イ
ベント等）が挙げられており、先日
の「松浦港緑地（うみのかぜ公園）
完成記念事業」では、イベントを共
催し、中学生や高校生と一緒にブー
ス出展等が行われました。

今後も、各地域のまちづくり運営
協議会の取り組みに、世代を超えて
多くの皆さまに参画していただきた
いです。

福島町の建物や公衆トイレに
ついて



福島中学校
渡邊 果歩、脇山 那菜、末安陽奈乃

現在、松浦市全体の人口は減
少傾向にあります。

私たちは、福島町がもっと住
みやすい町になれば、福島町に
人を呼び込んだり、仕事があま
れたりして地元が活性化し、松
浦市全体の活性化になると考え
ます。

特に公衆トイレは、私たちも
きれいに使うよう努力はしてい
ますが、なかなかきれいになっ
たり、使いやすくなったりして
いないと感じます。

支所や消防などの公共施設に
ついては老朽化が進んでいると
感じます。

Q 福島の支所や消防などの公共
施設、ふれあい広場や日の浦
のグラウンドにある公衆トイレが老
朽化しています。そのような建物の
整備や施設の修繕の用途はたってい
ますか。

A 市役所福島支所、福島公民
館、消防署福島出張所の3
施設を一緒にした福島地域複合機能
庁舎の建設を計画しています。

現在、福島小学校跡地に庁舎を建
設する準備のための地形測量調査を
行っており、今年度中には地質調査
と建物設計する業務に取り掛か
り、それらが終わった後に建築工事
を着工し、令和10年度末までに完成
させることを目指しています。

ふれあい広場のトイレについては
快適に利用いただけるよう状況を確
認しながら、引き続き維持に努めて
いきます。日の浦グラウンドの公衆
トイレについては、県の所有なので、
改善できるように県にお伝えしてい
きます。

前回の子ども議会後、当時の福島
中学校生徒会にトイレ利用のマナー
ポスターを作成いただき、公共のト
イレに貼っていただきました。ご協
力いただいた生徒会に感謝します。

Q 福島町唯一のスーパーであつ
たAコープもなくなってしまう
、農産物販売は行ってもらって
いるものの不便です。今後福島町に、
スーパーが建設されることはありま
すか。

また、福島診療所に、今後、小児
科や入院施設等施設設備を充実させ
ていく予定がありますか。

A Aコープ閉店後の空き店舗
の利用や、その他の場所
におけるスーパーなどの施設建設とい
う動きは把握できていません。

現在、市では、共に考え、学び、
行動していく「小学校区を対象とし
た協働によるまちづくり」を進めて
おり、福島地域においても本年6月
29日に「福島地域まちづくり運営協
議会」が設立されました。

生活用品等の買物ができる店が
少ないという課題が挙げられてお
り、解決に向け、若者の出店支援を
行っていくというところを取り組みの
一つに掲げられています。

市としても、地域住民が一体と
なって取り組める環境づくりについ
て、引き続き支援していきたいと考
えています。

小児科については、専門ではありません
ませんが、けがの対応やワクチンの

接種などを行っています。

入院については、現在できない状況です。近年、人口減少に伴う患者の減により大規模医療機関であつても閉院が相次ぎ、医師や看護師も不足するなどの医療機関も経営が厳しい状況にある中で、小児科の設置、高度医療や入院への対応は困難な状況です。

福島診療所は福島地域皆さまの「かかりつけ医」として、地域の医療を担うとともに、必要に応じて専門的な医療機関への紹介等を行っています。

また、福島診療所では、介護が必要な方を対象に、運動機能向上と自立した生活をおくることを目的としたリハビリテーションや認知症で自宅での生活が困難な方の共同生活の場も提供しています。

今後とも、医療と介護の両面で福島地域皆さまのお役に立ちたいと思っています。

松浦市の教育設備について

松浦市の子どもたちが将来の松浦市を担うためにも、より良い教育がより良い松浦の未来につながることを考えます。

Q 福島中学校の電子黒板用パソコンの調子が悪いです。設備の修繕等はどのように計画・実施されていますか。また、松浦市のパソコン担当の方に先生・生徒対象に話をしていただき、松浦市全体で見を広めるという活動はどのようでしょうか。

A 「第3期松浦市教育振興基本計画」に沿って、学校のICT環境の整備事業を実施しています。多くの機器で修繕不能や故障が出ていることから、来年度までに電子黒板の不足分を補充したり、電子黒板用のノートパソコンや児童生徒用のタブレットを新しい機器と入れ替えたりするよう計画しています。ICT機器に関する知見を深める活動にも是非協力したいと思えます。どのようなことを知りたいのか学びたいのか教えていただき対応していきたいです。

ふるさと松浦のまちづくりを ともに考える決議



福島中学校
渡邊 果歩 議員

この度、私たちは、「松浦市子ども議会」に参加し、改めて自分たちが住んでいる地域や松浦市全体のことを考える機会を得ました。

質問は、各校それぞれが話し合いを重ねた上で決めた内容で、人口減少対策や観光資源の有効活用および新たなPRなどの地域活性化から、施設設備の充実、医療サービス、災害時対応等の社会資本の整備など広い範囲におよびました。どれも私たちの生活に密着していることばかりで、改めて松浦市の課題に気づくとともに魅力について振り返ることができました。

松浦市は、自然が豊かで歴史や伝統のある、素晴らしい私たちのふるさとです。

私たちは、今回の貴重な体験を生かし、まちづくりを人ごととせず、将来のまちづくりの担い手として、これからのまちづくりについて仲間とともに考え、皆さまとともに、ふるさと松浦を創るために取り組んでいきたいと思えます。

令和7年8月1日

松浦市子ども議会

子ども議会を終えて



福島中学校

松下 あんり 議長

軽い気持ちで引き受けた議長という仕事。議会当日実際に議長席につくと、引き受けた仕事の責任の大きさや難しさに圧倒され、頭が真っ白になりました。それでも事務局の方々のサポートを受けながら、時々言葉に詰まることもありましたが、議会をスムーズに進めることだけを考え最後までやり抜くことができました。閉会の後は全身の力が抜けてしまいました。最後までやり遂げることの大切さを学ぶことができ、とてもいい経験になりました。

また、各中学校から出たいろいろな議題に触れながら、松浦市が取り組んでいること、抱えている課題等を学ぶことができ、普段何気なく過ごしてきた松浦市に対し新たな考えをもつことができました。

これからもっと松浦市を知り、自分達に何ができるかを考え実践していければと思います。そして松浦市が住み続けたい・戻ってきたいまちに、なることを心から願っています。

子ども議会では「住み続けたいを実感できるまちづくり」をテーマに、学校ごとに人口減少問題や市内の医療体制、松浦の資源を活用した市政運営など、さまざまな角度から質問や提案をしてくれました。各学校の子ども議員が課題に熱心に取り組み、真剣に話し合いを重ね、議場で緊張しながらも堂々と自分たちの意見を発表している姿は、とても頼もしく見えました。

子ども議員から出された質問・提案を通じて、松浦市の課題を共有し、そして一緒になってすばらしいまちづくりができるよう、私たちも一つ一つ真剣に検討し答弁しました。今回の子ども議会の経験をまちづくりへの参画のきっかけにし、子ども達が今後も市政に関心を持って、自らが考えた意見を基に行動できる人材に育ってほしいと思います。次代を担う皆さんがふるさと松浦に愛着と誇りをもてるよう今後も「住み続けたいを実感できるまちづくり」に力を注いでまいります。



松浦市

友田 吉泰 市長

今回の子ども議会は、各中学校において、子ども議員の選出や質問の内容など、十分に対応していただきありがとうございます。

子ども議員の皆さんは、ふるさとである松浦市を「住み続けたいを実感できる松浦市」にするために、一生懸命に考え、堂々とした態度で質問をしていました。見ていて、とても頼もしく感じました。

皆さんが提案してくれた貴重な意見をしっかりと受け止め、松浦市でできることについては、実現に向けて努力していきます。

子ども議員の皆さんは、子ども議会とおして、松浦市のよさや魅力や課題について学ぶことができましたと思います。

また、この議場で、子ども議員として質問をしたり、議長となって会議を進めたりするなどの貴重な経験をしました。この学びや経験を、今後の生活や学習に、必ず活かしてください。



松浦市教育委員会

黒川 政信 教育長

敬老の日に寄せて

敬老の日を迎えるにあたり、松浦市民を代表して、皆さまのご長寿を心からお喜び申し上げます。

物価高や不穏な国際情勢など、世界的な事案の発生によりなかなか先が見通せない状況です。戦後80年が経過した我が国において、これまでに起こった予期せぬさまざまな危機に向き合い、尽力されてこられた皆さまに深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

さて、令和7年7月末現在、本市における70歳以上の高齢者は6,383人であり、そのうち100歳以上の方が31人いらっしゃいます。敬老の日を迎えられる皆さまには、地域の中で、さまざまな人とつながりを持ちながら、自分自身の持ち味を十分に発揮され、今後もご活躍していただきたいと願っております。

一方で、少子高齢化の進行や働き手の減少など社会の枠組みが大きく変化しており、誰もが住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、たとえ人口が減ってもみんなが幸せに暮らせるまちを創るための取り組みが必要となっております。

そのため、本市では、市民と行政が今後の課題を共有し、共に行動する公共計画として「育つ・つながる・根をおろす」を基本理念とする「第二次松浦市総合計画」に沿ったさまざまな取り組みを積極的に進めております。

高齢者の皆さまが長年培われた豊富な経験や知識は、この活動を進めていく上で大きな財産であり、力になることは言うまでもなく、今後は今まで以上に皆さまの出席が必要になると感じております。

長寿を迎えられる皆さまには、これからも健康にご留意いただき、本市の発展に引き続きお力添え賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さまの末永いご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和7年9月吉日

松浦市長 友田 吉泰

「東京・松浦ふるさと会」総会・懇親会のご案内

東京・松浦ふるさと会事務局 村田 清治

本会は、首都圏在住の松浦市出身者による親睦団体で、本年は12周年となります。これまでの11年の歩みと経験を活かし、さらなる飛躍を目指したいと思っております。お知り合いに松浦出身の人がおられましたら、ご出席のお誘いと地区担当へのご一報をいただきたくお願いいたします。

【日時】 9月27日(土)

受付 正午～午後1時

開会 午後1時～4時

【場所】 アリスアクアガーデン田町

港区芝5-34-7 田町センタービルピアタ 3F

☎ 03-5427-5535

【会費】 男性10,000円 女性7,000円

(ご夫婦でのご出席15,000円)

新卒社会人(松浦市出身)3,000円

学生(松浦市出身)無料

小中学生(保護者同伴)2,000円

※総会・懇親会の内容のお尋ね、ご住所の変更、新規会員のご紹介などにつきましては、次の地区担当へご連絡ください。

星 鹿	山口 桂右	☎ 090-9247-1515
	畑中 勝廣	☎ 080-1084-8820
御 厨	小林 泰	☎ 080-6953-7114
	万谷 哲司	☎ 090-3521-5945
志 佐	城 篤雄	☎ 090-7804-8701
調 川	吉元 利行	☎ 090-8877-9012
今 福	武部 寛聰	☎ 090-5339-2597
	松尾 慶一	☎ 090-3451-3508
福 島	村田 清治	☎ 070-6563-4523
鷹 島	西 満幸	☎ 090-7722-2214

第 27 回参議院議員通常選挙の投票率

☎ 選挙管理委員会 ☎ 内線 328

7月20日に執行された参議院議員長崎県選挙区選出議員選挙における各投票所ごとの投票率をお知らせします。

投票区	投票所	選挙当日 有権者数(人)	最終投票者数および投票率	
			投票者数(人)	投票率(%)
1	御厨公民館	2,051	1,126	54.90
2	西木場公民館	689	404	58.64
3	田代地区営農研修センター	365	193	52.88
4	星鹿公民館	1,169	598	51.15
5	青島住民センター	149	104	69.80
6	上志佐公民館	551	345	62.61
7	上高野公民館	1,039	559	53.80
8	栢木免公民分館	257	142	55.25
9	松浦市役所	3,372	2,162	64.12
10	白浜公民館	414	253	61.11
11	中免公民館	414	216	52.17
12	調川公民館	862	475	55.10
13	前浜公民館	286	144	50.35
14	東部交流センター	1,900	1,051	55.32
15	飛島集会所	33	24	72.73
16	滑栄免漁民集会所	142	102	71.83
17	伊万里釜会館	1,025	609	59.41
18	原区集落センター	409	237	57.95
19	ふくざき会館	315	188	59.68
20	里地区公民館	150	114	76.00
21	鷹島開発総合センター	645	328	50.85
22	三里地区多目的集会所	179	96	53.63
23	阿翁地区多目的集会所	621	227	36.55
24	黒島地区多目的集会所	34	23	67.65
在外投票		21	2	9.52
合計	男	8,217	4,747	57.77
	女	8,875	4,975	56.06
	計	17,092	9,722	56.88

※最終投票者数のうち、期日前投票者数は 5,405 人、不在者投票者数は 145 人。
前回 (R4.7.10 執行) の投票率は 48.00%



7月19日、公園の完成を記念したイベントが開催され、多くの来場者でにぎわいました。式典では、記念碑の除幕や公園完成を記念したテープカット、公園名称の命名者への記念品贈呈が行われました。

さらに、会場では歌や踊りのステージ、抽選会やクルージングなどの催しが盛りだくさん。締めくくりには、特大の花火が夜空を彩り、公園を美しく照らしました。



御厨地域振興会による愛称募集には、周辺地域の小中学校から132件の応募があり、御厨小学校3年生の川崎日那詩さんの「うみのかぜ公園」が最優秀賞に選ばれました。

名前の由来は、公園が海の近くであり、そこを歩くといつも心地よい風が吹いてくることから名づけられたものです。

御厨地域振興会からは名前が刻まれた記念碑が寄附されました。

うみのかぜ公園オープン

県の工事として進められてきた松浦港御厨地区緑地整備事業が完成を迎え、御厨町の海沿いに新たな憩いの場が誕生しました。

この公園には、芝生広場やウォーキング・ジョギングコースを整備しており、企業版ふるさと納税を活用して設置した遊具などもあります。

心地よい「うみのかぜ」を感じながらぜひご利用ください。



ご利用時の注意事項

- みんなの公園です。他の方の迷惑になるような行為はやめましょう。
- ゴミは自分で持ち帰りましょう。
- たき火、バーベキュー、花火やキャンプ活動などはできません。
- タバコのポイ捨てはやめましょう。
- ペットはリードをつけ、フンは飼い主が責任を持って後始末をしましょう。
- 自転車、バイク、スケートボードなどの乗り入れはできません。
- 早朝、深夜に騒ぐのはやめましょう。
- 樹木や草花を大切にしましょう。

大切につかってねー





3



1



4

太鼓



2

御厨

松浦港御厨地区緑地（うみのかげ公園）完成記念事業が7月19日に松浦（御厨）港周辺で開催されました。

イベントのフィナーレには、夜空を彩る花火が打ち上げられ、大きな尺玉が公園の完成を華やかに祝いました。

（写真①～②）

※松浦港御厨地区緑地（うみのかげ公園）完成記念事業イベントの詳細は、前ページをご覧ください。



夜空を彩る

松浦の夏



今福

2025 疫神社夏祭り今福
花火大会が7月26日に今福港
周辺で開催されました。

会場では模擬店やステージ
イベントなどがあり、たくさ
んの人でにぎわいました。

祭りの終盤には、1100
発の花火が打ち上げられ、頭
上に咲く色とりどりの花火に
大人から子どもまで魅了され
ていました。(写真③～④)

志佐

第72回志佐町納涼花火大会
と精霊船流しが、8月15日に
志佐大橋(鹿ノ爪橋)周辺で
開催されました。

松浦太鼓道行きから始まり、
大抽選会、精霊船道行きがあつ
た後、1000発の花火が夜
空と川面を鮮やかに染め幻想
的な景色が広がりました。

(写真⑤～⑧)

「アジフライの聖地 松浦」アワードを創設 初めての表彰式を開催



●受賞者 株式会社 三陽
(高橋利明代表取締役社長)

今年度新設の本アワードは、松浦アジフライ憲章を遵守し、聖地松浦の推進に貢献した企業・団体、または個人を表彰するものです。

受賞した株式会社三陽は、学校給食への供給や、松浦鉄道車両へのラッピングなど、意欲的な取り組みを通じて、松浦アジフライの普及促進、認知度向上、シビックプライドの醸成に大きく貢献。

その功績に感謝し、表彰状と記念品の盾を贈呈しました。

高橋社長は、「アジフライのブランド力は評価されている。このブランドを落とさず、新たな食べ方を研究して商品開発も頑張っていきたい」と話しました。

松浦市で初めての国際交流員（CIR）を任命

昨年からモンゴル国ホジルト郡との姉妹都市交流が再開。

モンゴルとの交流・協議・通訳や、元寇にかかる市の取り組みを進めるため、8月4日にモンゴル出身の国際交流員（CIR）を任命しました。

これは、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の外国青年招致事業（JETプログラム）を活用したものです。

8月6日には、市役所にて辞令交付式を開催。辞令を受け取ったムンフバヤル・サラングレルさんは「皆さまと力を合わせ、一日も早く貢献できるように頑張ります」と話しました。



名前 Munkhbayar Sarangerel
(ムンフバヤル・サラングレル)
出身：モンゴル国ウランバートル市
言語：モンゴル語、日本語、英語
略歴：名桜大学院卒（沖縄）、JICA モンゴル勤務

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式を開催 寄附企業のご紹介

企業版ふるさと納税を活用し、本市へ寄附をされた企業さまに、感謝の意を表するため、感謝状を贈呈しました。

温かいご支援をいただき、ありがとうございました。

7月に感謝状贈呈を行いました寄附企業さまをご紹介します。



株式会社 アイモバイル

- 本社所在地** 東京都渋谷区
対象事業 安心・幸せのまちプロジェクト
松浦港緑地整備に伴う遊具設置事業
事業内容 松浦港緑地に遊具を設置する事業

新鷹島学校給食共同調理場完成



令和6年度より進めていた新調理場が完成し、2学期より鷹島小・中学校への配食が始まっています。

旧調理場は昭和49年に建設され、築50年以上経過し老朽化が著しいことから、建て替えることとなりました。

新調理場は HACCP^{ハサップ}の概念を取り入れるなど、衛生管理の充実を図っており、一日最大160食の調理能力を有する施設です。

今後も鷹島地区の小・中学生へより安全・安心な学校給食を提供してまいります。

※HACCP（ハサップ）…食品の安全性を科学的に確保するための衛生管理手法

松浦市消防署鷹島出張所新庁舎完成



施設の老朽化に伴い、令和5年度から新築事業を進めていた新庁舎が、6月30日に完成。

鷹島地区における新たな防災拠点のスタートを記念し、7月24日に県議会議員や市議会議員などの関係者を招いて落成式を挙行了しました。

新庁舎は、鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積368.89㎡で耐震構造となっており、蓄電池を備えた自家消費型太陽光発電設備も設置予定です。

7月16日から新庁舎（鷹島小中学校前）へ移転、業務を開始しています。

令和7年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会出場（松浦高等学校）



▲写真上段左から高田さん、濱川さん、石本さん
写真下段左から成富さん、浦辺さん、阿部さん、崎田さん、梶原さん

阿部 優亜さん (3年) 団体試合	浦辺 優花さん (3年) 団体試合・演技
崎田 愛さん (3年) 団体試合・個人試合・演技	高田 綺星さん (2年) 団体試合
成富 姫香さん (2年) 団体試合	濱川 愛瑠さん (2年) 団体試合
梶原 愛瑠さん (2年) 団体試合・個人試合・演技	
石本瑠希愛さん (1年) 演技	



▲写真左から田川さん、山口さん、竹田さん

幸村杯第10回全国高等学校男子なぎなた選手権大会出場（松浦高等学校）

山口 真尋さん (3年)
竹田 桧さん (3年)
田川 優心さん (2年)



▲写真左から矢岳さん、久保さん、新見さん

全農杯 2025 年全国卓球選手権大会出場

タクファミ Jr. 所属
矢岳 由衣さん (志佐小6年)
久保 里彩菜さん (志佐小6年)
新見 仁湖さん (志佐小4年)



令和7年度全国高等学校総合体育大会 ボクシング競技大会出場

県北ボクシングジム所属
佐世保中央高等学校（志佐中出身）
北村 海頼さん（2年）



令和7年度民謡民舞少年少女全国 大会出場

益田 瑞岬さん（御厨小4年）



令和7年度全日本珠算選手権大会出場

澤邊 來空さん（鷹島小6年）



湘南藤沢カップ JVA 第16回全日本ビーチ バレーボールU15選手権大会4人制大会出場 HEKINAN マンモスカップ JVA 第5回全日 本ビーチバレーボールU15選手権大会出場

唐津クラブ所属
坂本 大河さん（唐津東中3年） 鷹島出身



第49回全国高等学校総合文化祭 日本音楽部門出場

長崎県三校合同チーム
 (佐世保北高等学校 邦楽部所属) 志佐中出身
大浦 桃佳さん (2年)



第25回全日本中学生男子 ソフトボール大会出場

長崎 KSC 所属
今田 賢澄さん (志佐中 2年)

全国および九州中学校大会出場



【陸上競技】

吉浦 奈都さん (志佐中 3年) 全国・九州
 吉浦 歩優さん (志佐中 3年) 全国・九州

【水泳競技】

有安 綺良さん (志佐中 3年) 九州

【卓球競技】 志佐中学校男子卓球部 九州

川原 啓輔さん (3年) 小野 晟和さん (3年)
 益本 悠伸さん (3年) 久保 光彩さん (3年)
 松田 啓史さん (3年) 尾崎 翔さん (3年)
 古里 明さん (3年) 新見 陽真さん (2年)
 ※益本さんは、個人の部にも出場されます。

まちの話題

7/15 地域の水産業を学ぶ

福島養源小学校水産教室



新松浦漁業協同組合（田淵輝明組合長）福島くるまえび養殖場と県は、同学校の4年生22人を対象に、水産教室を開きました。

この取り組みは、地元の水産業に興味を持ち、理解を深めてもらおうと毎年実施しています。



児童は水槽内のクルマエビや施設を見学しながら、生態や育て方、出荷方法などについて説明を受けたあと、養殖池へ稚エビ350匹の放流を行いました。このクルマエビは、10月から12月に出荷される予定です。

7/16 暑さに負けず元気にプレー

協会創立30周年記念 第11回松浦市グラウンド・ゴルフ協会 会長杯大会



同大会が、市民運動公園で開催され、19チーム116人が参加しました。

上位結果は次のとおりです。

【総合優勝】藤本 哲次

【男性の部】①藤本 哲次（54打）

②田中 一美（55打）③福田光一郎（58打）

【女性の部】①大久保悦子（56打）

②池田 征子（58打）③富本 丸子（58打）

7月中旬 人権の花が咲いたよ

人権の花運動



御厨小学校

今年度は、御厨小学校と上志佐小学校の児童が人権の花運動に取り組み、ひまわりを大事に育てました。

この運動は、花の種子などを、児童たちがお互いに協力して育てることで、思いやりの心を育み、人権尊重の理解を深めることを目的に全国で毎年行われる人権啓発運動です。



上志佐小学校

本市では、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員（力武副会長ほか6人）の協力のもと、小学校2校の持ち回りで実施しています。

7/17 大切な命を守り救うために

ういてまて（着衣泳）・PUSH 講習



まつうラッコ会（消防本部有志）は、夏休み期間中の水難事故を防ごうと市内の小学校7校を訪れ、水難事故防止の講習会を実施。

星鹿小学校では、高学年・低学年に分けて講習が行われ、「ういてまて」の合言葉とともに服や靴を身に着けたまま水に浮いて待つ方法や、救助時の注意点を学びました。

さらに今回、初の試みとして「SAGA 唐津 PUSH」から講師を招き、高学年を対象に心臓マッサージと AED の使い方を効率的に学べる PUSH の講習会が行われました。

児童は、心肺蘇生法トレーニングツールを使用し、一斉に実技に取り組みました。

7/20 笑顔で繋いで交流深める

第16回松浦市バレーボール協会長杯ソフトバレーボール大会



優勝チーム ヒロミベスト



同大会が松浦スポーツセンターで開催され、市内外から13チームが参加。

今回はフリーの部のみの開催となり、和やかな雰囲気の中で参加者は日頃の練習の成果を発揮し、コート上での交流を深めました。

上位結果は以下のとおりです。（敬称略）

【優勝】ヒロミベスト

【準優勝】アレッタベスト

【第3位】スカイ

【第3位】ベストフレンド

7/26,27 としょかんに泊まろう

おとまり読書会 in としょかん 2025



市立図書館で、約10万冊の本に囲まれながら1日を過ごす「おとまり読書会」が開催され、8組19人の親子が参加。

非日常的な空間の中で、時間を気にせず読書に没頭し、翌日には読書感想文の作成にも取り組みました。

参加者は、「静かな場所で、メディアから離れてゆったりとする時間は、とても温かい気持ちになった」と話しました。

7/28、8/4 御厨ぶどうドライブスルー販売会

JAながさき西海松浦地区御厨ぶどう部会



「松浦の極み」認定の御厨ぶどうのドライブスルー販売会がJAながさき西海牟田集荷所で開催されました。

両日とも多くの来場者で長蛇の列ができ、「2時間前から並んで、お目当ての品が購入できた」、「知人や親戚にも送るため、20箱購入した」との声がありました。

巨峰、安芸クイーン、シャインマスカットの3品種の単品・混合（1箱4パック入り）が用意され、両日で約1,000箱が販売されました。

8/3 松浦の極みフェア！ 松浦アールスメロンまつり

JAながさき西海松浦メロン部会



「松浦の極み」認定の松浦アールスメロンまつりが文化会館で開催。

今年は、春先の低温や天候不良で栽培が難しい年でしたが、生産者のきめ細かな栽培管理により、品質の高いメロンに仕上がりました。

市内外から旬のメロンを求めて多くの人が訪れ、早朝から行列ができました。

用意された約300ケースは、次々と販売され、会場は爽やかなメロンの香りに包まれていました。

8/3 平和への願いを語る

被爆80年まつうら平和のつどい実行委員会（新見タカ代表）主催



市立図書館の共催により、被爆80年まつうら平和のつどいが開催され、約120人が集まりました。

第1部では、被爆された人のご遺族から聞き取ったお話を4人の朗読者が朗読した後、井村初代さんと岩本シゲ子さんの被爆体験も語られました。

第2部では、「青い空は」ほか2曲が披露され、会場は平和を願う歌声に包まれました。

閉会のあいさつでは、松浦市の「非核平和宣言」を参加者全員で読み上げました。



原爆パネル展も開催

8/6~10

北海道鷹栖町の児童と交流

ホークス交流事業



北海道鷹栖町児童5人が本市を訪れ、本市の児童6人と交流しました。

平成8年から続くこの事業は、互いの地域を訪問し、広い視野と豊かな個性をもった青少年の育成を目的に行われています。

期間中は松浦市の食や歴史、自然に触れることができ、松浦魚市場や松浦市立埋蔵文化財センターなどを見学しました。

送別式では、別れを惜しみながらも、来年1月の鷹栖町での再会を約束しました。

8/8~11

長野県木曾町の中学生が本市の中学生と学習交流

松浦市・木曾町・福島町生徒学習交流事業



長野県木曾町（旧木曾福島町）の中学生8人が本市を訪れ、本市の生徒と交流しました。

同事業は、同じ「福島」の名を持つ、両町と本市の生徒が相互に訪問することで、郷土愛を育むことを目的に行われています。

期間中は、市内施設の見学やシーグラスアクセサリー作りなどを体験。

また、御厨中学校の平和学習にも参加し、平和への祈りを捧げました。

松浦での夏の体験をした生徒たちは、思い出とともに松浦を後にしました。

8/10

文化会館をまるごと楽しむ

まるごと一日お楽しみ DAY！ 2025



同イベント（文化会館主催）が文化会館で開催され、多くの家族連れで賑わいました。

今回は、同館の開館30周年を記念して、「みんなのカラオケ大会」がゆめホールで実施され、元気な歌声と盛大な拍手が会場に響き渡りました。

ロビーではお絵描きアート、小ホールでは体験教室などが行われました。

さらに、ふれあいホールでは、市内外から約60店舗が集まり、マルシェやワークショップなどが開かれ、文化会館をまるごと満喫できる一日となりました。

まちの話題

知つとび

まつうらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

まちの話題

知っとぴ

まつうらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

注目
01

はかりの定期検査を行います

問合せ

産業振興課 商工振興係

☎内線 257



計量法では、取引や証明に使用する特定計量器（業務用のはかりなど）の正確性を保つため、2年ごとに定期検査を受けることが義務付けられています。

はかりを取引や証明に使用している人は、次の日程で検査を受けてください。
(長崎県計量関係手数料条例により、はかりの種類によって手数料が異なります。)

対象地区	検査日	検査時間	会場
今 福	9月16日(火)	13:30～15:00	東部交流センター
飛 島	9月17日(水)	10:30～11:00	飛島公民館
青 島		13:00～14:00	青島住民センター
阿 翁	9月18日(木)	10:00～10:30	新松浦漁協鷹島支所 阿翁浦荷さばき所
鷹 島		13:00～14:30	鷹島支所
鍋 串	9月19日(金)	10:00～12:00	鍋串公民館
塩 浜		13:00～15:00	伊万里釜会館
御 厨 星 鹿	9月24日(水)	13:30～15:30	御厨公民館
調 川 志 佐 上志佐	9月25日(木)	9:30～12:00	勤労青少年ホーム
		13:00～15:00	
松浦市全域	9月26日(金)	9:30～11:00	

検査対象外

- ・家庭で使用しているはかり
- ・民間計量士で検査を受けたはかり

【問合せ先】

- 検査日程・会場
産業振興課
商工振興係
☎内線 257
- 検査内容、対象など
長崎県計量協会
☎090-9598-3346

注目
02

文化・スポーツ功労者の情報を集めています

問合せ

生涯学習課

☎内線 312



文化・スポーツの振興を図るため、「松浦市文化・スポーツ功労表彰」を設け、本市の文化・スポーツの普及・発展に貢献された個人・団体を教育委員会が表彰しています。

被表彰候補者については、文化協会・スポーツ協会・学校などの協力を得ながら把握に努めていますが、市民の皆さまからも情報の提供をお願いします。

- 情報提供の期限 12月12日(金)
- 対象者 要件①、②のいずれにも該当する個人・団体

	要件①	要件②
個人	市内在住者、市内への通勤・通学者 または市内出身者	・文化およびスポーツの振興に貢献し、大きな功績がある または ・優秀な成績を収めている (県下大会優勝、九州大会2位以上、全国大会3位以上など)
団体	活動の本拠地が市内	

※詳細については問合せ先へご連絡ください。
表彰式は令和8年3月7日(土)の予定です。

地域

知らせ

お気軽にご相談ください
無料法律相談会を開催します

問 田中亮法律事務所 ☎ 0956-76-7125
FAX 0956-76-7126

弁護士による無料法律相談会を開催します。

●日時 9月11日(木) 午前10時～午後5時
9月25日(木) 午後1時～5時

●場所 別館会議室

●相談内容

不動産・物品の売買・賃貸、金銭問題、交通事故、離婚、相続、遺言作成、成年後見、労働問題、多重債務、消費者トラブルなど

※原則、1つの内容につき1回のみ相談可能

●主催 田中亮法律事務所

●予約 総務課行政係

☎ 0956-72-1111 (内線 321)

地域

知らせ

自筆証書遺言書保管制度のご案内

問 長崎地方法務局平戸支局
☎ 0950-22-2263

遺言書は法務局で保管することができます。改ざんや紛失を防止することができ、裁判所での検認手続が不要になります。

また、遺言者の死後、保管の事実をご親族など(3人まで)にお知らせすることもできます。



問合せ先ホームページ

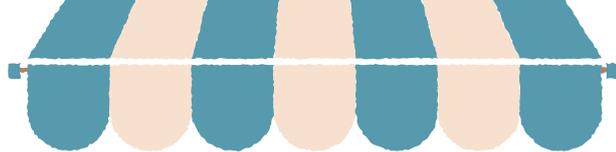
詳しくはこちらから▲

今月の税金

9月30日まで

税目 国民健康保険税(4期)

納付は口座振替で!
Webで簡単申し込み



まっら ま通ら

マルシェ



愛称や略称で表示しています

すこやか青プラザ

…松浦市市民福祉総合プラザ

きりきり21

…松浦市生涯学習センター

(市立図書館・中央公民館)

ふくふく2011

…松浦市東部交流センター

(今福公民館)

青のまち松浦スタジアム

…松浦市野球場

文化会館

…松浦市文化会館

スポーツセンター

…松浦スポーツセンター

問 …問合せ先

今月の休日水道補修当番

吉福設備

☎ 090-1879-0532

まちの話題

知っとび

まつらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

地域

募しゅう

英会話を学びませんか

問 松浦市国際親善協会事務局(生涯学習課内)
☎内線 343

松浦市国際親善協会が主催する英会話教室の受講生を募集します。

- 期間 10月7日(火)～12月16日(火)
- 日時 火曜日(10回程度)
初級クラス：午後6時30分～7時15分
中級クラス：午後7時30分～8時15分
- 場所 きらきら21 研修室1・2
- 講師 マシュー・グリーン先生
- 費用 (一般)3,000円
(親善協会会員)2,000円
- 定員 各クラス15人
- 受付期間 9月8日(月)～19日(金)
- 申込方法 問合せ先までお電話ください。



問合せ先ホームページ

詳しくはこちらから▲

地域

募しゅう

第22回長崎県ねんりんピック「生きがい作品展」作品募集

問 (公財)長崎県すこやか長寿財団
☎095-847-5212

同作品展の出展作品を募集します。

- 開催日時 12月18日(木)～21日(日)
- 開催場所 長崎県美術館
- 部門 絵画、写真、書、工芸・彫刻
- 対象 県内在住で60歳以上のアマチュアの人
- 出品料 1点につき500円
(同一部門2点まで出品可)
- 受付期限 10月31日(金)
- 申込方法 問合せ先ホームページをご確認ください。



問合せ先ホームページ

詳しくはこちらから▲

市役所

知らせ

令和7年国勢調査が 全国一斉に実施されます

問 政策企画課 企画統計係 ☎内線 316

5年に1度の日本で最も重要な統計調査「国勢調査」が、10月1日現在で実施されます。9月20日から調査員が各世帯を訪問し、調査書類をお届けします。

●回答方法

次のいずれかの方法でご回答ください。

- ①インターネット
- ②郵送
- ③調査員への調査票提出

●回答期限 10月8日(水)



市ホームページ

詳しくはこちらから▲

地域

知らせ

こころの悩み、病気について ご相談ください

問 県北保健所 ☎0950-57-3933

県北保健所では、不安な気持ちがある、依存症やひきこもりのことで悩んでいるなどの相談を受け付けています。相談は無料です。

●日時

- ・保健所職員による相談
平日 午前9時～午後5時30分
(祝日および年末年始を除く)
- ・精神科嘱託医による相談(年8回)
次回の精神科嘱託医による相談
9月18日(木)午後2時～4時
※9月10日(水)までにお申し込みください。

●場所 県北保健所

●申込

問合せ先までお電話ください。

問合せ先ホームページ



詳しくはこちらから▲

地域

募
し
ゆう

第11回松浦市民親睦 チャリティゴルフ大会

問 大会事務局
☎ 090-5295-1110 小川

市民の融和と親睦を図り、スポーツを振興することを目的とした同大会を開催します。

- 日時 10月13日(月・祝)
- 場所 佐世保・平戸カントリークラブ
- 対象 市内在住または勤務の人
- 表彰 ネットの部・グロスの部(各部門)
- 参加費 3,000円 ※別途プレー費
- 競技方法 18ホールストロークプレー
ダブルペリア方式(上限なし)
- 申込期限 9月19日(金)
- 申込方法 専用申込書をFAXかメールにて
※詳しくは問合せ先までお電話ください。

地域

募
し
ゆう

再就職のために公共職業訓練 を受講しませんか

問 ポリテクセンター佐世保 訓練課受講生係
☎ 0956-58-3118

同センターは求職者向けの職業訓練施設です。12月からの受講生を募集します

- 募集訓練科(4科)
- ①CADクラフト科 ②電気設備技術科
- ③住環境コーディネイト科
- ④テクニカルメタルワーク科(概ね55歳未満の人が対象、企業実習付き訓練)
- 費用 無料(テキスト代等は自己負担)
- 訓練期間
12月2日(火)～令和8年6月30日(火)
- 募集期間 9月18日(木)～10月24日(金)
- 申込 最寄りのハローワーク「職業訓練相談窓口」へ
問合せ先ホームページ



詳しくはこちらから▶

市役所

募
し
ゆう

『介護予防・地域支え合い サポーター』になりませんか

問 松浦市地域包括支援センター
☎内線178(長寿介護課内)

介護予防による元気な暮らしと、支え合いの地域づくりのためのサポーター養成講座を福島地区で開催します。お気軽にご参加ください。

- 対象者 市内在住で、健康づくり・介護予防活動、支え合いの地域づくりに関心がある人
- 内容 理学療法士や管理栄養士、社会福祉士等専門職による実践を交えた講話と座談会
- 日程 ①9月11日(木) ②9月25日(木)
③10月9日(木)
午後1時30分～3時30分 ※全3回
- 場所 福島保健センター
- 費用 無料
- 申込方法 9月10日(水)までに問合せ先へお電話ください。

市ホームページ



詳しくはこちらから▶

市役所

募
し
ゆう

音楽レクリエーションで 介護予防をしませんか

問 長寿介護課 長寿支援係 ☎内線191

音楽とリズムにあわせて、楽しく頭と体を動かしながら、脳と心を元気に!

認知症の正しい知識を学び、早期予防と理解を深める講座です。地域で支えるふれあいの場としてどなたでもご参加いただけます。

- 日程 9月17日(水)
午前10時～11時30分 鷹島公民館
午後2時～3時30分 福島保健センター
- 申込方法 問合せ先までお電話ください。
※定員(各会場70人程度)になり次第、締め切ります。

市ホームページ



詳しくはこちらから▶

まちの話題

知
つ
と
び

ま
つ
う
ら
マ
ル
シ
エ

暮
ら
し
の
掲
示
板

連
載
コ
ー
ナ
ー

戸
籍
だ
よ
り

地域

イベント

ワンコインでジャズ を楽しみませんか

問 文化会館 ☎ 0956-72-5758

ワンコインで鑑賞できる「くつろぎジャズライブ」を開催します。

日曜日の午後、ジャズの名曲たちでくつろぎの時間を…♪

●日時

9月7日(日)

開場 午後1時30分/開演 午後2時

●会場

文化会館 ゆめホール

●出演

Setsu(ボーカル)、小森 陽子(ピアノ)
福田 将之(ベース)、三國 隆(ドラムス)

●チケット料金

全席自由・500円(税込)

※大人、子ども共通

※0歳から入場可、3歳以上有料

●チケット販売

問合せ先まで

問合せ先ホームページ



詳しくはこちらから▲

市役所

イベント

おもちゃを作りながら楽しい時間を過ごしませんか

問 子育て・こども課 子育て支援係 ☎内線 148

音が鳴るかわいいおもちゃを作ります。
子育てについてお話ししながら、楽しい時間を過ごしませんか。

●日時

10月16日(木) 午前9時30分~正午

●対象

子育て中の人やその家族

※お子さまと一緒に参加可能です。

●場所

すこやか青プラザ3階

●費用

無料

●申込

問合せ先までお電話ください。

●申込期限

10月3日(金)

●主催

松浦市母子保健推進員



市ホームページ

詳しくはこちらから▲

地域

イベント

松浦市史談会主催 定期記念講演会

問 松浦市史談会事務局 ☎090-4350-3245

松浦市史談会の正会員 小畑久之氏を講師に「源久公の再考について」を題目とした定期記念講演会を開催します。

●日時

9月13日(土) 午後2時~

●場所

きらきら21 2階ホール

●費用

無料

誰でも自由に参加できます。

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

1枚300円

9月19日(金) 発売!!

公財長崎県市町村振興協会

80万円ジャンボ宝くじ

子育て応援イベント

内容	日にち	場所	受付時間
乳幼児相談	10日(水)	鷹島支所1階 和室	10:00～11:30
乳幼児相談	16日(火)	すこやか青プラザ3階	9:30～11:00
土曜マタニティー教室(要予約)	20日(土)	すこやか青プラザ3階	9:15～9:30
離乳食教室(要予約)	24日(水)	すこやか青プラザ3階	9:30～9:45
乳幼児相談	26日(金)	福島保健センター	9:30～11:00

上記以外にもイベントなどが開催されていますので、市のホームページでご確認ください。



子育てイベントカレンダー



子育て・こども課 SNS



まちの話題

知っとび

まつうらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

わたしたちの郷土

問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356

地域の宝を守るため
工事の前に確認を！



◀詳しくは
こちらから

無形民俗文化財の記録作業に取り組んでいます

無形民俗文化財の保存・継承

市内には、浮立やジャンガラなど10件の指定無形民俗文化財がありますが、少子高齢化や人口減少による担い手不足など、地域文化の保存・継承が困難な状況になっています。

地域文化の映像記録化

先人から受け継いだ文化を未来に継承するため、映像記録に取り組んでいます。

今年度は松山田浮立、田ノ平浮立を撮影しました。今後も計画的な記録保存と地域文化の保存・継承を図ります。なお、松山田浮立は、9月28日に開催する「まつうら郷土芸能共演会」(会場:文化会館)でも披露されます。



文化財課文化財係

解体

空家

地域密着 38年!

不動産運用

GOOD HOUSE

〒859-4502 松浦市志佐町里免315-4 ☎0120-72-3718

休日当番医

日にち	9月7日	14日	15日	21日
当番医	白壁外科医院	田中病院	菊地病院	松浦中央病院
連絡先	☎ 74-0221	☎ 75-0211	☎ 72-0151	☎ 72-3300
23日	28日	10月5日		
松浦中央病院 ☎ 72-3300	能塚医院 ☎ 73-0077	坂口こどもクリニック ☎ 72-5900		

救急医療機関電話相談 → # 7119 (救急安心センター)

救急車を呼んでいいのかな？
病院に繋がらない…。 → 福島・鷹島町からは…
☎ 095-801-1217 (救急安心センター)

学校行事

内容	日にち	場所
みんなでオープンスクール	1日(月)～5日(金)	市内小中学校
市内中学校体育大会(鷹島を除く)	21日(日)	市内中学校(青島小を含む)

図書館通信

市立図書館 ☎ 72-4677 市立図書館 HP ▶



イベント情報

みんなの作品展およびまつうら郷土芸能共演会に出展します

日程 9月13日(土)～14日(日) POP コンテスト 2025 投票・読書バリアフリー展
9月28日(日) 読書バリアフリー展 **場所** 文化会館

「やさしい日本語」で自転車のルールを確認しませんか？

日程 9月21日(日) 午後1時～(1時間くらい)
場所 生涯学習センターホール 2階

としょかんシネマ
9月27日(土) 午後2時～

リレーおはなし会
7日、14日、21日、28日
午前11時～

※暑さをしのぐ場所として図書館をご利用ください。詳しくはこちらから▶



参加する人は、連絡してください。詳しくは、左記のQRから▶



市立図書館休館日のお知らせ

1日(月)、8日(月)、11日(木)、16日(火)、22日(月)、25日(木)、29日(月)

新車がお得！ スーパー乗るだけセット

例えばダイハツミライースLSAⅢが

7年リース **1万円** (税抜き)

※税込11,000円×84回、ボーナス月64,680円加算(年2回)

車検代、税金もコミコミ！
バッテリー、タイヤなど
メンテナンス費用もコミコミ！

0120-77-8799
AM9:00～PM7:00

車楽館
平戸市田平町小手田免1255-3 備二シ・マイカーセンター

あなたのための

補聴器

あります

聴力のプロはメガネ店

認定補聴器技能者の店
聴力測定室完備

佐々町 尚時堂 補聴器センター

- 佐々ショッピング店
営業時間/ 9:30～18:30
TEL 0956-63-2110
- マックスパリュ佐々店
営業時間/ 10:00～19:00
TEL 0956-63-2235

まちの話題

知つとび

まつうらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

内容	日にち	場所	開催時間		
介護予防教室	5、12、19日（金）	すこやか青プラザ3階	9:30～11:30		
	4、11、18日（木）	福島保健センター	9:30～11:30		
	4、11、18日（木）	鷹島公民館	13:30～15:00		
すっきり元気教室	毎週水曜日	すこやか青プラザ3階	9:30～11:00		
	毎週水曜日	福島保健センター			
	毎週木曜日	ふくふく2011			
	毎週木曜日	鷹島公民館			
内容	日にち	場所	日にち	場所	開催時間
高齢者健康教室（鷹島）	25日（木）	船唐津公民館			13:30～15:00

まちの話題

知っとび

まつうらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

発見

けんこうの
たね



今月の
たね

健康づくりのキーワード「COPD」

☑ COPDを疑うサインがないか
確認してみましょう

- 40歳以上で、喫煙歴がある
- 慢性の咳、痰が出る
- 歩行時や階段昇降など、労作時に呼吸困難がある
- 風邪の回復に時間がかかる、風邪症状を繰り返す
- 倦怠感が強い など

COPDを疑うサインがないか
下記QRでも確認できます▼



今月の隊長
濱村保健師



COPDとは？

COPDは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。最大の原因は喫煙で、タバコの煙を長年に吸入することで肺に炎症が生じます。喫煙者の15～20%がCOPDを発症するとされています。

診断方法は？

呼吸機能検査（スパイロメトリー）で気流閉塞の有無や程度を評価し、胸部X線やCT検査で肺の状態を確認します。

治療は？

治療の基本は**禁煙**です。その他症状の程度に応じて、薬物療法・呼吸リハビリテーション・酸素療法などが行われます。増悪を予防するために、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチン接種も勧めます。



無料駐車場完備!!

ボートレース大村のレースを中心に
SGレースや全国各地のレースも発売!

ボートレース
チケットショップ 松浦



【公式HP】

BTS松浦

ボートレース大村

ボートレース大村

ボートレース大村

ボートレース大村

ボートレース大村

松浦市今福町滑栄免265 TEL 0956-74-1410

各種相談、イベントなどの情報

内容	日にち	場所	問合せ先
折り梅カフェ※1	4日(木)、10月2日(木)	すこやか青プラザ4階	長寿介護課☎内線177
身体障害者相談	10日(水)	すこやか青プラザ1階	福祉事務所☎内線198
出張年金相談(要予約)	11日(木)	市役所 市民ホール	☎0956-34-1189
手をつなぐサロン※2	19日(金)	すこやか青プラザ1階	事務局 ☎090-5020-2602
身体障害者相談(福島地区)	22日(月)※午前	福島保健センター	福祉事務所☎内線198
身体障害者相談(鷹島地区)	22日(月)※午後	鷹島支所	福祉事務所☎内線198
つくしの会※3	24日(水)	すこやか青プラザ3階	健康ほけん課☎内線129
就職なんでも相談(要予約)	25日(木)	すこやか青プラザ3階	☎0956-25-3490

※1 認知症の人と家族の集い ※2 障害者などの支援者の集い ※3 ひきこもり・不登校の家族のつどい

みんなで防ぐ 消費者トラブル掲示板

問合せ先 消費生活センター ☎内線180

個人情報を聞き出す不審な電話にご注意！

最新情報は国民生活センターHPをチェック



トラブル内容

「〇〇通信会社です。利用料金の未納があるので電話が利用停止となります。オペレーターにお繋ぎするので1番を押してください」や「〇〇省通信局です。2時間後に電話が使えなくなります」等といった自動音声ガイダンスでボタン操作を誘導する電話がかかり、番号を押すとオペレーターに繋がり、確認をするので住所、名前、生年月日を尋ねられた。

ひとことアドバイス

これらの電話は、未納料金がある、電話が止まる等と不安を煽り個人情報を聞き出したり還付金があるといってATMを操作させたり、お金を振り込ませようとする手口です。公的機関の職員が電話で個人情報を聞き出したり、ATMの操作を指示したりすることはありません。不審な電話には絶対に個人情報や口座情報は教えないでください。

おかしいと思ったら、すぐに相談を！消費者トラブル以外の市民相談も受け付けています

上り下り最大概ね1Gbps

ちゅんちゅんコラボ光

ONU機器リース料
プロバイダ料
通信料込み！

月額利用料 **5,500円** (税込)

福島町エリアも
コラボ光 受付中！

ちゅんちゅんテレビ光エリアならこちらもおすすめ！

ちゅんちゅん光30 最大概ね※離島のぞく
上り下り30Mbps

Wi-Fi対応付
ONU機器リース料
プロバイダ料
通信料込み！

月額利用料 **3,300円** (税込)

ご自宅のインターネット・ケーブルテレビのことならおまかせください！ 代理店届出番号 第11900811号

西海テレビ株式会社 伊万里市山代町久原 TEL0955-28-2466

松浦ケーブル株式会社 松浦市志佐町浦免 TEL0956-73-4002

記載サービスはベストエフォート型のため、回線の混雑状況や通信環境により、速度が低下する場合があります



Goodbye everyone!

松浦での生活を経験できたことは、本当に幸せでした。2024年に来日してからまだ1年しか経っていませんが、日本のこの町と地域がすっかり好きになりました。美しい自然と温かい人達に囲まれて、心豊かな日々を過ごすことができました。

学校で、児童・生徒・教師・そのほかの職員の皆さんが、授業や学校行事に真剣に取り組み、一丸となって協力し合う姿を目にしたことは、私の今後の生活に大いに役立つ経験となると感じています。

地域活動への参加や、御厨や福島で英語指導、太鼓演奏への参加、さらに多くのお祭りやイベントへ関わることで、地域の皆さまと心温まる交流を重ねることができました。

これらすべてが、かけがえのない、喜びと学びに満ちた経験となりました。こんなに短い期間で離れるのは寂しいですが、ここでの思い出はこれからも大切にしていきます。近いうちに必ず訪れたいと思っています。

From Ryan Goleby (ライアン・ゴルビーより)



まちの話題

知っとぴ

まつうらマルシェ

暮らしの掲示板

連載コーナー

戸籍だより

松高だより

■まつナビ中間発表

6月25日(水)に2年生によるまつナビ中間発表を行いました。地域の人や学校関係者および長崎県立大学の学生からアドバイスをもらい、今後の活動につながるものになりました。

探究テーマ

- 方言を辿る
- 空き家をつなげる！
- 福島町の椿を使ってスクラブ体験をしよう！
- 松浦の野良猫問題
- 未来予想図
- ゴミをリサイクル
- SNSを使って松浦の観光地をPRしよう
- 松浦高校のグッズ開発
- まつドリー焼きを通して松高の知名度を上げる
- お茶漬け開発
- 米ぬかでボディケアグッズを作ろう!!!!
- 笑顔でつながる地域の輪
- 海ベンチ
- 本でつながろう
- 松浦をもっと明るく



天神書簡-福岡事務所便り-



松浦の楽しい！美味しい！を 体験するバスツアー

福岡都市圏から松浦市への誘客促進を図ることを目的とし、まつら党交流公社、KBC九州朝日放送と連携し、7月26日に「手ぶらで海釣り体験バスツアー」を実施しました。

港釣りでは小アジやカサゴが釣れて、初めて体験する参加者も大興奮の釣果でした。

魚さばき体験では、優しい漁協女性部の皆さんの指導のもと釣れた魚を素揚げにしたり、アジのつみれ汁を作ってお昼に食べるなど、心もお腹也大満足。

また、今回のバスツアーの案内役として、元HKT48の田中菜津美さん、福岡よしもとサカイストのまさよしさんにご参加いただき、現場は大いに盛り上がりました。バスの中では、松浦の情報をふんだんに取り入れた2人の楽しいトークに、参加者の笑顔が終始途切れることのない1日となりました。



▲パーソナリティの2人



▲港釣り体験



▲魚捌き体験

問合せ先

松浦市福岡事務所
☎ 092-406-2180

✉ matsuura.f@city.matsuura.lg.jp



松浦市ファンクラブ 検索

戸籍だより 【7月15日～8月15日届出（敬称略）】※希望者のみ掲載

ご結婚おめでとう



吉福 誠 星鹿・大石
 (長崎) 綾香 平戸市
 山下 諒 調川・下免
 (田中) 麗奈 雲仙市

岩井 音鏝(智哉) 志佐・里 1
 山川 侑里(夏樹) 御厨・前田
 川畑 琥太郎(憲吾) 御厨・上坊
 赤木 結依(潤) 志佐・黒汐
 長谷川 綾也翔(智也) 志佐・里 1
 船屋 来羽(葵也) 志佐・里 2
 藤永 珠央(勇希) 御厨・前田
 前浜 三志瀧(崇志) 今福・梶の葉
 白石 琉虎(海斗) 志佐・辻ノ尾
 崎原 直夏(麻絵) 志佐・下高野
 () 内は親の名前

お誕生おめでとう

金石コナミ(94歳) 福島・土谷
 大石 巧(72歳) 鷹島・阿翁
 林 ミスエ(95歳) 志佐・池成
 山下 洋子(88歳) 御厨・御厨団地
 大山 幸一(92歳) 星鹿・牟田
 白石 武男(94歳) 星鹿・川原辺田
 中村 千鶴子(86歳) 志佐・立石川
 吉永 勝義(95歳) 今福・寺上
 瀬川 富夫(86歳) 鷹島・石川
 橋本 ミチユ(85歳) 鷹島・阿翁
 新見 憲弘(52歳) 志佐・田ノ平
 呼子 美代子(87歳) 志佐・西山
 松田 松美(101歳) 御厨・大崎下
 福浦 真純(92歳) 今福・浜ノ脇
 村末 正(96歳) 志佐・大浜東
 北川 日出生(92歳) 星鹿・北久保
 前田 君子(83歳) 御厨・板橋
 谷川 和正(75歳) 調川・江口1
 塚本 英樹(77歳) 福島・伊万里釜
 森山 のよ子(70歳) 調川・前浜団地
 古竹 正剛(69歳) 星鹿・北久保
 小林 宇平(47歳) 御厨・平瀬

ご冥福をお祈りいたします

梶の葉：今福梶の葉団地
 上坊：御厨上坊団地



PROFILE

西吉 純也さん 40歳 (鷹島・阿翁浦)
 妻と子ども4人の6人暮らし。
 家族みんな、松浦のおいしい魚が大好きです。
 最近ソフトボールを始めました。

○職業・仕事内容
 松浦高校を卒業後、新松浦漁業協同組合に5年間勤めました。
 現在は家業の漁師を継ぎ、父と従業員とともに五智網漁ごちあみりょうに出漁しています。大漁を目指し、日々奮闘中です。

○未来の松浦へ一言
 鷹島の子どもたちがのびのびと成長できる環境を守り、生まれ育ったこの島が自慢できる場所になるよう、新たな魅力を創出する活動に取り組んでいきたいと考えています。鷹島には、元寇の歴史や豊かな自然が息づいており、地域の魅力を次世代へつなげたいです。

※次は、新見 福也さん(志佐・里田原)にバトンタッチ！

■市報 まつうら No.237
 令和7年9月1日発行

【発行】松浦市政策企画課 ☎0956-72-1111
 〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365
 ホームページ <https://www.city-matsura.jp/>



消防本部活動日記

水難事故を想定し、長崎県防災航空隊と合同訓練を実施しました。



▲要救助者を水面から防災ヘリコプターへ救出している様子。

女性防火クラブ員募集

松浦市消防本部では、地域の防火防災活動を行う女性防火クラブ員を募集しています。「自分のまちは自分で守る」をモットーに災害のないまちづくりに参加しませんか。

詳しくは、問合せ先まで
 消防本部総務課 ☎72-11211

消防本部
 ホームページ



Instagram



編集室から



花火特集では、たくさんの写真を撮影しました。掲載できなかった一部をこちらですとお届けします。

文・写真(はま)